

【件名】

中野駅新北口駅前地区における基盤整備の進捗状況について

【要旨】（目的・内容・対象・時期・今後の方向等）

1. 要旨

中野駅新北口駅前地区で整備を計画しているペDESTリアンデッキ、駅前広場等の基盤施設については、中野駅地区整備基本計画（平成30年第3回定例会報告）に基づき基本設計を進め、昨年度、関係機関とも基本的な協議を整え成果をとりまとめている。現在、これらを基に独立行政法人都市再生機構（以下、「UR都市機構」という。）及び東日本旅客鉄道株式会社（以下、「JR東日本」という。）への委託により実施設計に着手しており、令和6年度の工事着工へ向けて協議、調整を進めている。

今回、ペDESTリアンデッキを含む交通広場の基本設計と整備に向けた取り組み状況などについて以下のとおり報告する。

また、新北口駅前地区ではこれら工事のため歩行者の迂回措置や工事ヤードの展開など順次進める予定であり、これらに関しても適時報告していく。

2. 内容

（1）駅前広場の計画概要

- ①都市計画名称 補助223号付属交通広場
- ②都市計画面積 約19,700㎡（嵩上げ部約3,200㎡を含む）
- ③都市計画経緯 昭和37年12月22日 都市計画決定
平成31年 3月28日 都市計画変更（最終）
- ④都市計画認可 平成27年 8月 7日 事業認可（当初）

（2）協定事業（事業範囲図参照）

当該駅前広場の整備については、事業の効率的推進を図るため当該駅前広場を含む中野四丁目新北口駅前土地区画整理事業の施行者であるUR都市機構へ実施設計及び整備を委託することとし、令和4年11月15日付、実施設計に関する協定を締結した。

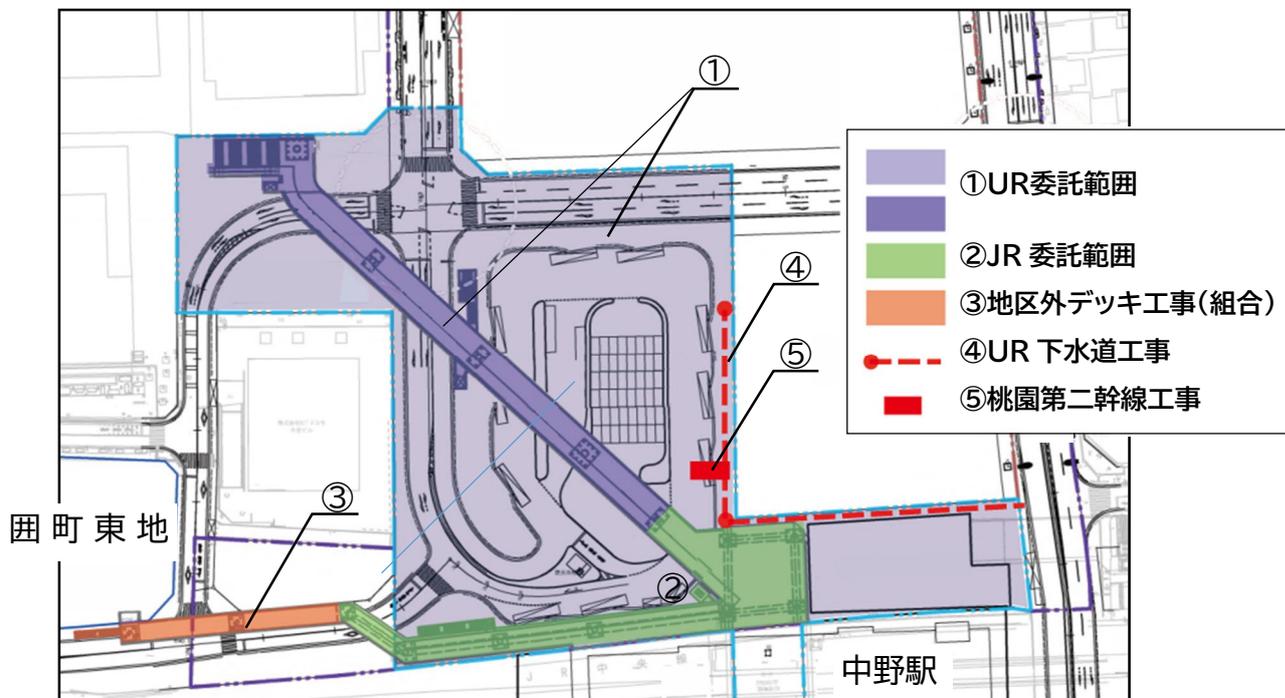
なお、鉄道敷に近接するペDESTリアンデッキ（エントランスデッキ及び中野四季の都市（まち）方面及び囲町方面の各デッキの一部）の実施設計と整備については、鉄道近接施工であること、南北自由通路や駅舎の工事ヤードとの関係などによりJR東日本へ委託することとし、令和4年12月20日付、実施設計に関する協定を締結した。

さらに、囲町デッキの西側区間（地区外デッキ）については、囲町東地区市街地再開発事業と連携した歩行者ネットワークの形成と、事業の効果的、効率的な実施を目途に当該再開発組合へ設計、整備を委託することとし、実施へ向けた協議を進め、令和5年

5月16日付、実施設計に関する協定を締結した。

現在、UR都市機構及びJR東日本、中野区による三者連絡調整会議にて協議、調整を図りながら実施設計を進めている。今後は、囲町東地区も含めて調整を進めていく予定であり、令和5年度末のとりまとめを予定している。

事業範囲図



(4) 関連工事 (事業範囲図参照)

新北口駅前地区では、3の事業に加え今年度、東京都下水道局による第二桃園川幹線取水人孔の整備、UR都市機構による区画整理事業の関連工事として下水道本管の切り回し工事が予定されている。

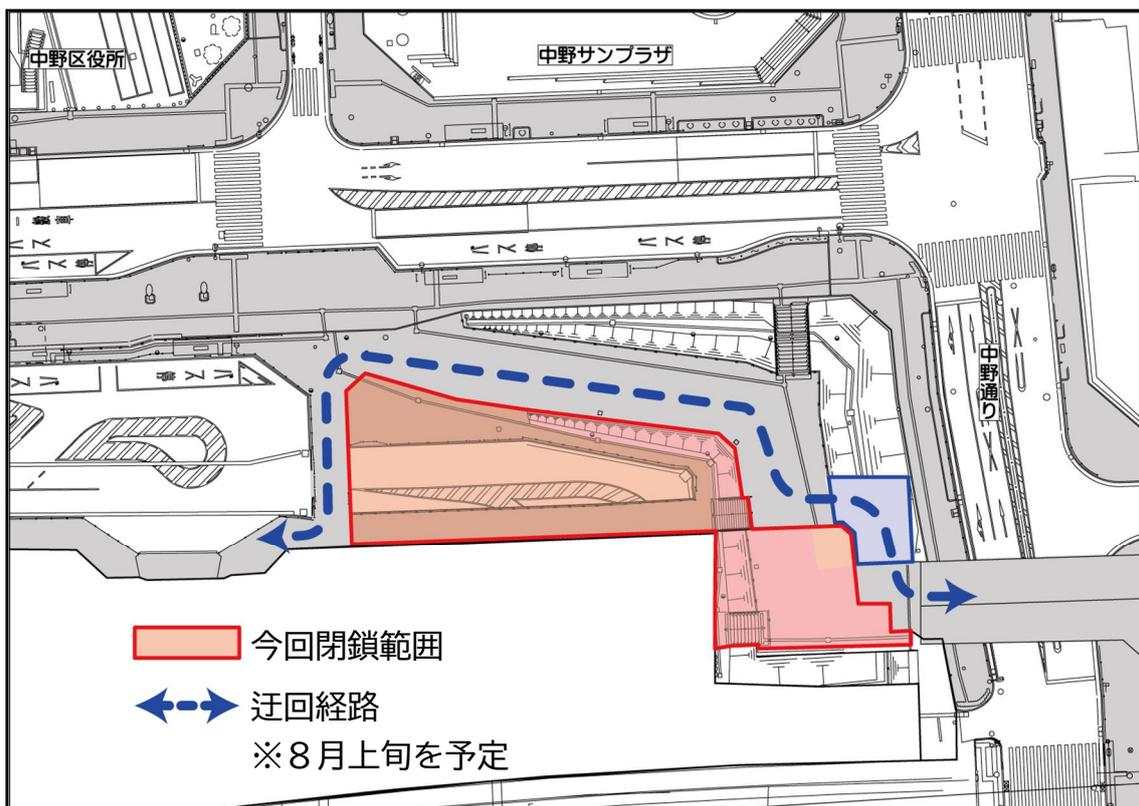
第二桃園川幹線は豪雨（時間50mmを超える雨量）の対策の一環として調節池機能等により既存下水管の負荷軽減を図り低い地域での浸水被害軽減を目的としたものであり、区の駅前広場の雨水排水等とも連携することから、円滑な進捗が求められている。

(5) 歩行者迂回路整備等

中野駅西側南北自由通路及び中野駅橋上駅舎等事業に伴い、東西連絡路の一部歩行者通路について迂回歩道構台の整備をJR東日本が進めており、当該構台を利用した一部迂回措置を予定している。

また、4の関連工事や、これに続くペDESTリアンデッキ、駅前広場の整備へ順次着手するため、歩行者の安全性と工事の進捗を図るため、一部の歩行者通路の閉鎖を行う必要があることから、東西連絡路の一部とあわせ8月上旬を目途に迂回措置を予定している。

迂回措置図



なお、これら迂回措置に際しては、現地に案内を掲示すると共に関係者へ説明周知を図り、駅周辺の歩行者空間として安全な通行の確保を図る。

さらに、今後、ペDESTリアンデッキや交通広場の整備を進めるため、順次迂回措置を進める必要があり、関係機関と協議を図り、北口駅前地区の利便性に配慮しながら安全な迂回措置を計画し事業を進めていく考えである。

これらについては、予め適時適切な時期に報告と周知を図る考えである。

(6) 今後の工事展開

現在、中野駅新北口駅前地区では中野駅西側南北自由通路及び中野駅橋上駅舎等事業による工事ヤードが展開されているが、今後、ペDESTリアンデッキや交通広場の整備を行うため、まずは現在の区役所敷地を活用した仮設バス停の整備を進める。

新北口駅前地区での工事ヤードはJR東日本に加え、UR都市機構、関連する占用事業者の各工事を円滑に進めるため必要な空間であるが、中野駅新北口改札開業時に必要な基盤施設が整うよう通行の安全性と利便性にも配慮しながら、効果的、効率的に工事ヤードが展開できるよう各事業者をはじめ関係機関とも調整、連携を図りながら検討を進めていく。

(7) 今後の予定

令和5年7月 下水道局桃園第二幹線工事着手
UR都市機構下水道本管工事着手

令和5年8月 東西連絡路の一部歩行者通路の迂回措置
仮設広場内の一部歩行者通路の閉鎖と迂回措置

令和6年 区役所解体、仮設バス停整備工事
中野税務署解体
ペDESTリアンデッキ工事着手

令和7年 中野税務署跡地インフラ移設工事

令和8年 中野駅新北口改札開業

令和11年 中野駅新北口交通広場供用開始